学校教育目標：光と恵みと力の旭南 ～「旭南行動人」の実現を目指して～

校報 旭南

第2号

秋田市立旭南小学校

令和6年5月2日

文責：校長 木谷光男

朝のエピソード1 「伝統！旭南スマイルあいさつ」

＜6年生による挨拶運動＞

「おはようございます。」旭南小学校の子どもたちの挨拶に笑顔とエネルギーをもらって1日がスタートします。目を見て、自分から進んで挨拶する子どもが多いと感じています。

「目が合った瞬間に遠くから」「目が合うまで待ってから」「気付いてもらうように」「微笑みながら」「会釈をして」子ども一人一人、挨拶の仕方は違いますが、一日のスタートの朝、心を通わせようとする気持ちが伝わってきます。また、『〇〇、おはよう。』と言葉で「にこにこしながらハイタッチして」子ども同士でのあいさつも素敵です。

さらに、1年生の弟に「挨拶は大事だよ。」と教えるお姉さんや、1年生の我が子が挨拶できたことを「よくできたね。」と褒めるお父さんもいます。

子どもたち同士、保護者の方々、みんなでスマイルがあふれる学校にしようとしている様子が伺われ、うれしい限りです。この伝統をさらに高めていきたいと思っています。

＜校内にある掲示物＞

朝のエピソード2 「5年生に結ばせてあげようよ」

＜朝の校旗掲揚＞

毎朝、計画委員の子どもたちが交代で校旗を掲揚しています。この日は、委員会がスタートした日とあって、6年生が委員会活動を初めて行った5年生に教えていました。

校旗の3箇所部分を掲揚等の紐に結び付けます。「ぼくのやり方を見ていて」という教え方もありますが、違いました。1か所はお手本を示して他の2箇所は、「5年生に結ばせてあげよう」と実際に体験させていました。

柔らかく動く紐同士を結び付けるのは、意外に難しいのです。今日体験した5年生は、次回、自信をもって活動できるはずです。5年生の気持ちになって考えることができる6年生のかかわりに心を打たれた出来事でした。

朝のエピソード3 「大人にとっては小さな一歩でも子どもにとっては大きな一歩」

入学式以来、毎日おうちの人と一緒に校門まで来て、なかなか離れられない1年生の子どもがいました。4月下旬、その子どもが一人で校門まで来ました。そして、挨拶を交わしたことしかない私に向かって目を見つめながら「ぼくは今日、あそこでバイバイしたよ」と伝えてきました。一瞬でしたがその顔からは、「頑張ったよ。できるようになったよ。強くなったよ。」と自信に満ち溢れた力強さを感じました。私は「やったね。」と声をかけました。子どもの振り返った方に目をやると、お父さんが立っていました。そして、子どもはお父さんに手を振った後、振り返ることもなく玄関に向かって歩み始めました。まだ、お父さんは10m先にいます。でも、とても大きな自立への一歩に感じました。子どもたちの小さな変化を見逃さず、認め、自信を膨らませていきたいものだという思いを一層強くもちました。

令和6年度 学校経営全体計画

学年通信の題は思いが詰まった学年のテーマ

先生たちは、子どもたちの健やかな成長を願っています。その願いが顕著に表れているものの一つに学年通信の題があります。どの学年も素敵な題が付けられ、先生たちの思いが伝わってきました。

学年	通信題(テーマ)	学年部の思い
1年	えがお	「楽しいな」「こんなことがあったよ」と笑顔で過ごせる学年にしよう
2年	一步一步	毎日、一人一人の個性を発揮しながら一步一步成長していこう
3年	トライアングル	3「tri」年生を様々な角度「angle」から見てよい面を伸ばしていこう
4年	Step by Step !	一步一步の歩みを大事にして、仲間と共に成長していこう
5年	スクラム	「一人はみんなのために、みんなは一人のために」力を合わせていこう
6年	一流宣言	学校の顔として誰からも愛され、率先して取り組む一流の6年生を目指そう
特支	フラワー	一人一人が自分だけの色とりどりの花をたくさん咲かせよう
通級	いろえんぴつ	一人一人が自分らしいカラーで素敵な景色を描いていこう

※本日の「1年生を迎える会」での子どもたちの様子は、たくさんの写真を使って旭南小HPでお伝えしています。どうぞご覧ください。